

ブラジル日本商工会議所 業種別フォーラム 「自動車部会」レポート

2023年3月22日

< 2022年度の振り返り並びに今後の展望 >

➤ 四輪業界動向

1. 2022年の振り返りと今後の展望
2. 長期展望 重要テーマ
3. 総括

➤ 二輪業界動向

四輪業界動向

1. 2022年の振り返りと今後の展望
2. 長期展望 重要テーマ
3. 総括

四輪業界動向

1. 2022年の振り返りと今後の展望

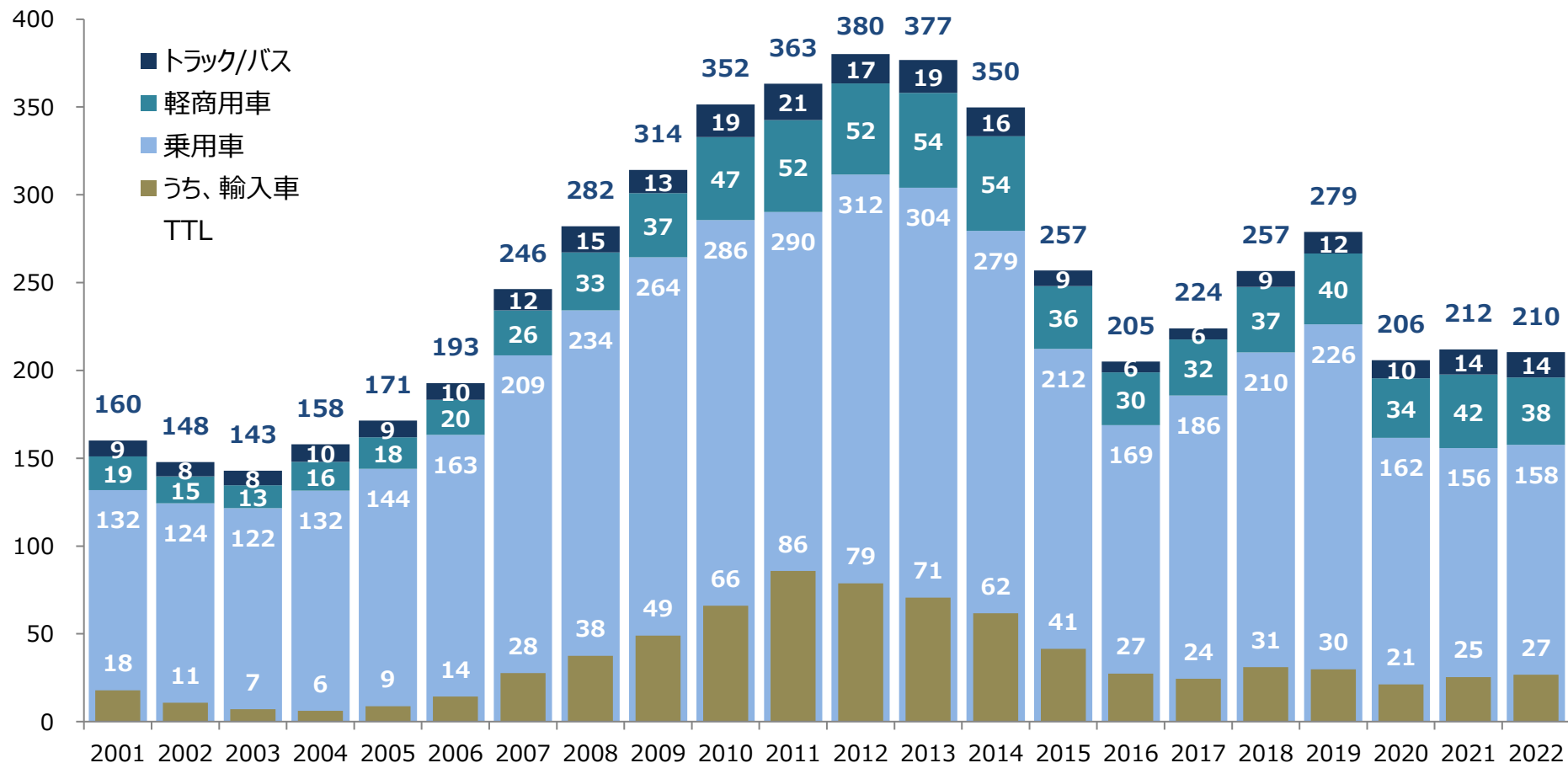
2. 長期展望 重要テーマ

3. 総括

1. 2022年 振り返り – 販売台数 推移

出所：ANFAVEA（ブラジル自動車工業会） 大型バス、トラックを含む四輪合計

(万台)

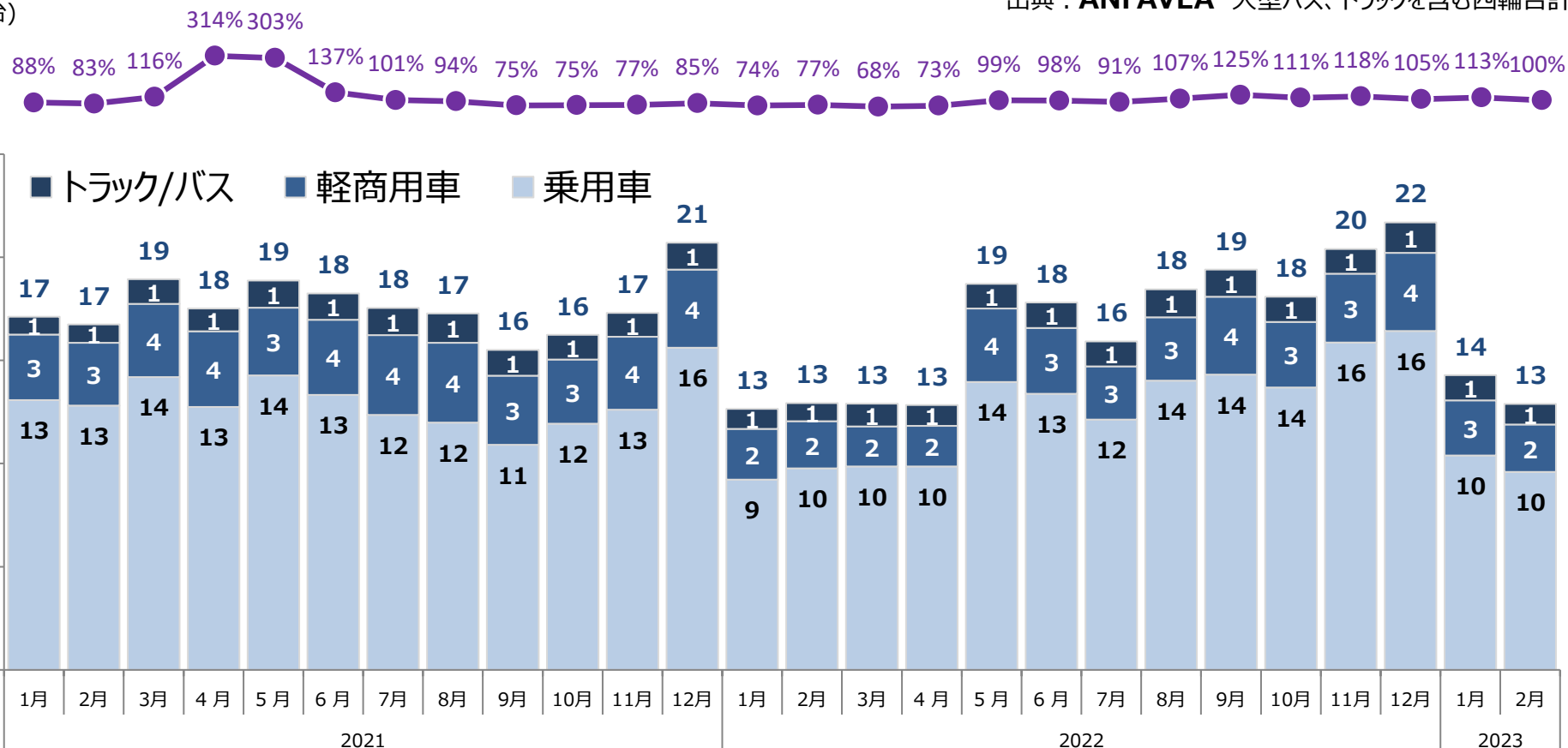


- 半導体の影響継続し、年間実績は210万台にとどまる。
- 輸入車の台数は近年横ばいも、電動車（BEV）の輸入急増

1. 2022年振り返り 一月別販売台数 推移

(万台)

出典：ANFAVEA 大型バス、トラックを含む四輪合計



2021年

107万台
前年比+32%
ダイレクトセールス比率 **43%**

2022年

96万台
前年比13%
ダイレクトセールス比率 **46%**

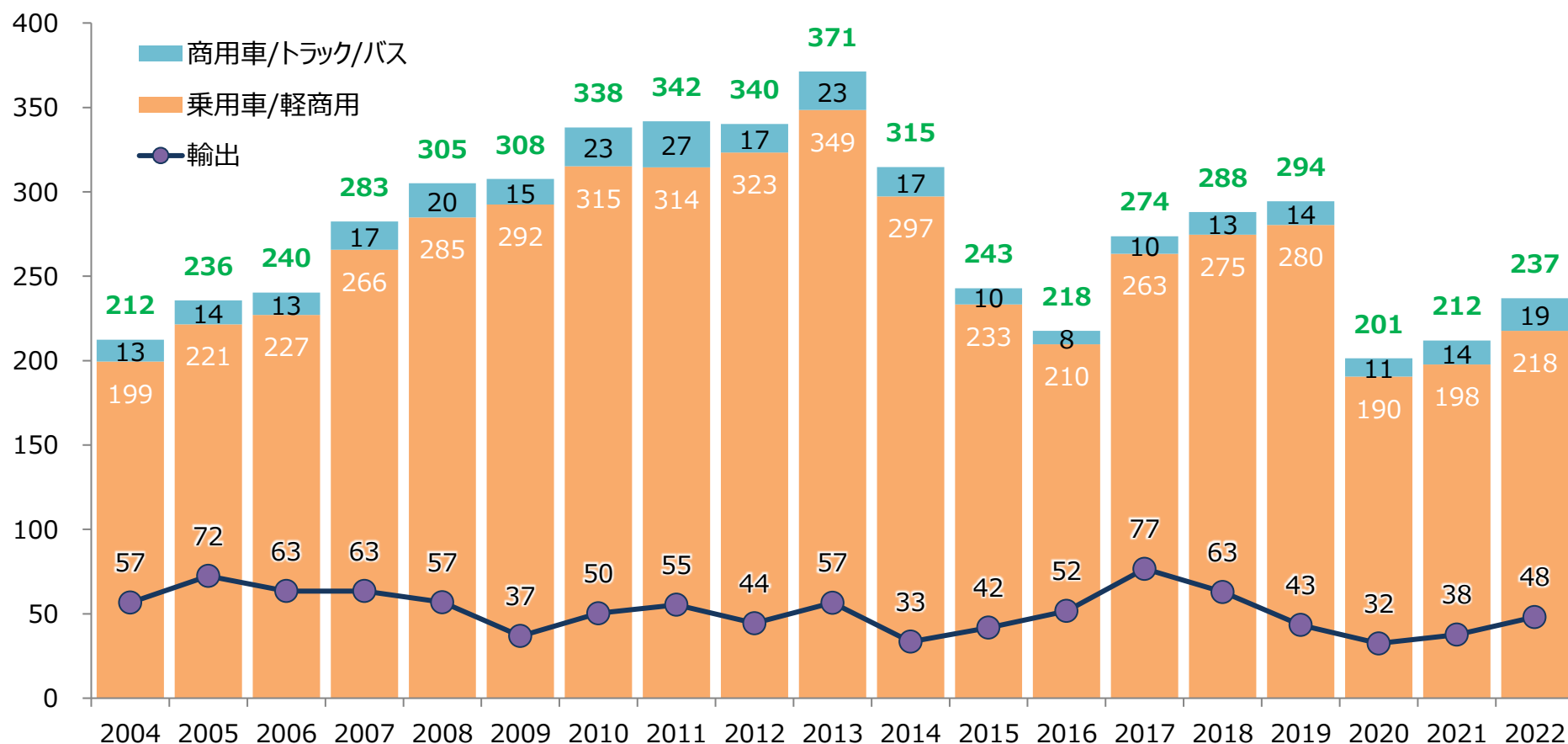
2023年

➤ 2022年度下半期は販売回復するも、インフレ・リアル安を背景に金利上昇、販売影響注視要

1. 2022年振り返り - 生産・輸出台数推移

出所：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

(万台)



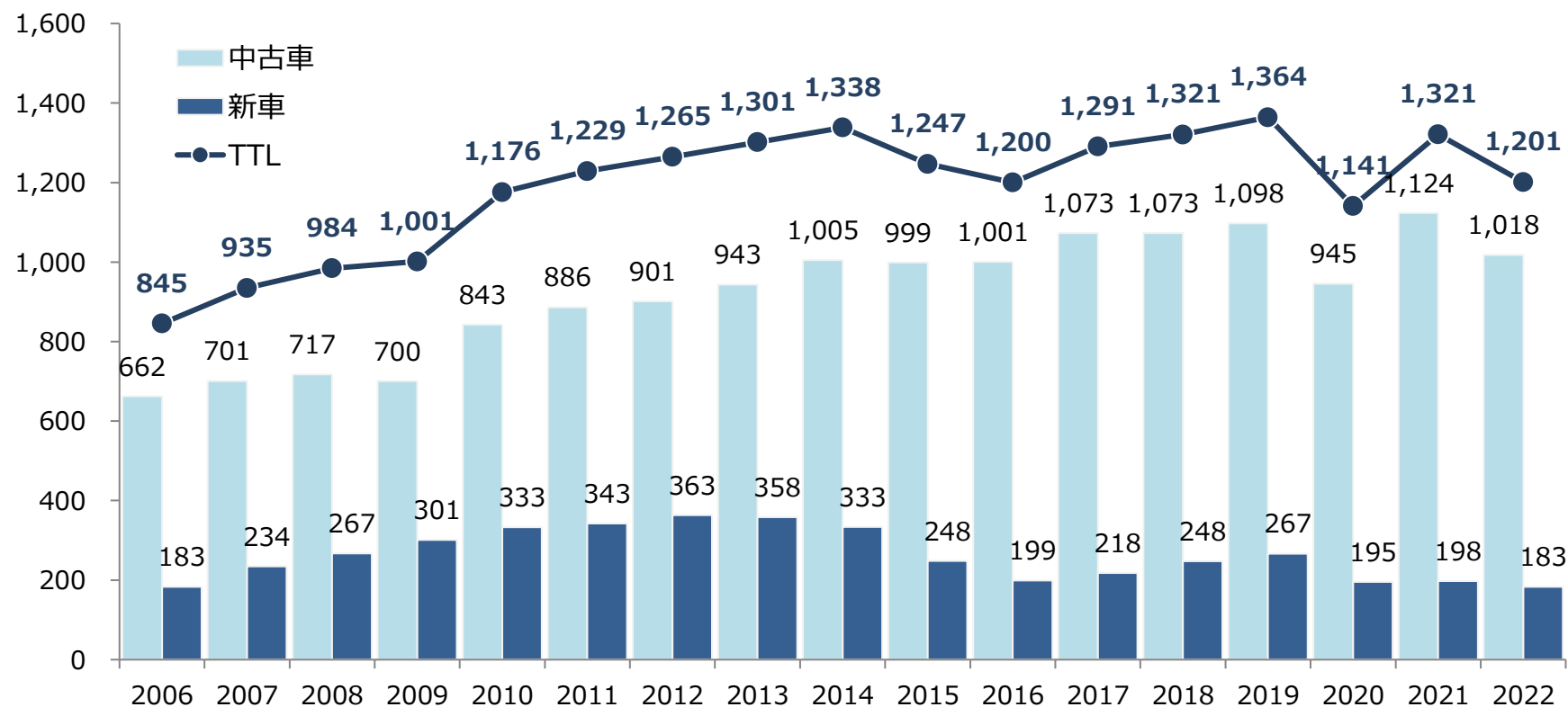
- コロナ影響により、近年生産減。足許は、部品供給（半導体など）不足も、生産は微増。
- アルゼンチンは外貨規制により、輸出減。一方、チリ、メキシコ、コロンビアは輸出増。

1. 2022年 振り返り – 自動車業界(中古・新車)

(万台)

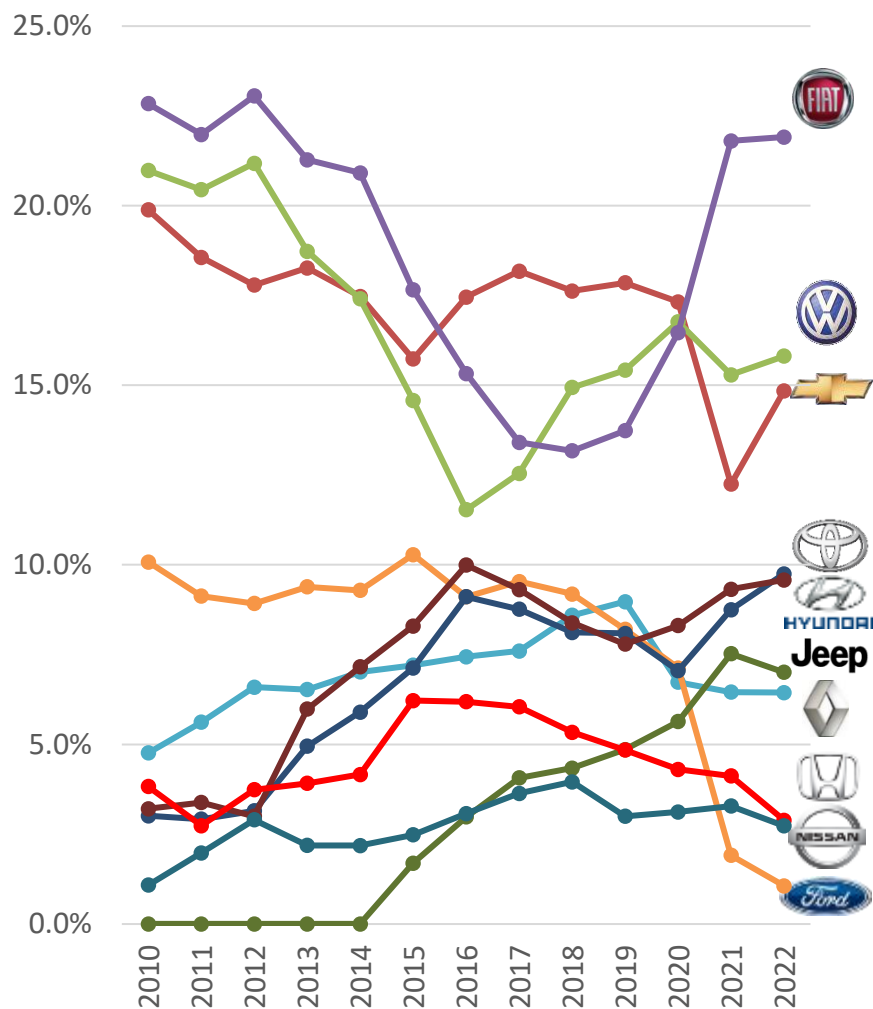
出典：FENABRAVE/ ANFAVEA

※乗用車/軽商用車のみ



➤ 昨年まで続いた中古車の勢いに変化あり。中古車価格も変化を見せており、新車と共に動向要注視

1. 2022年 振り返り – ブランド別シェア



| '21 | 台数 | シェア |
|---------------|------|-------|
| 1 | 43.1 | 21.8% |
| 2 | 30.2 | 15.3% |
| 3 | 24.2 | 12.2% |
| 4 | 18.4 | 9.3% |
| 5 | 17.3 | 8.7% |
| 6 Jeep | 14.9 | 7.5% |
| 7 | 12.8 | 6.5% |
| 8 | 8.1 | 4.1% |
| 9 | 6.5 | 3.3% |
| 10 | 3.8 | 1.9% |

単位：万台、トラック・バス除

| '22 | 台数 | シェア |
|---------------|------|-------|
| 1 | 43.0 | 21.9% |
| 2 | 31.0 | 15.8% |
| 3 | 29.1 | 14.8% |
| 4 | 19.1 | 9.7% |
| 5 | 18.8 | 9.6% |
| 6 Jeep | 13.7 | 7.0% |
| 7 | 12.6 | 6.4% |
| 8 | 5.6 | 2.9% |
| 9 | 5.4 | 2.7% |
| 10 | 2.8 | 1.1% |

- 在庫不足の影響が軽微だったFiatが引き続きトップ。Stellantisグループはシェア30%以上。
- トヨタは4位に浮上。Fordはブラジルでの生産撤退により、シェア急落し14位へ。

1. 2023年 展望 – 自動車業界

出典：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

◆ ブラジル市場・輸出・生産の2023年予測

単位：万台

| | 2022年 最終結果 | 2023年 予測 |
|------|---|-------------------------|
| | ANFAVEA | ANFAVEA (2月発表) |
| 国内市場 | トラック・バス 含む総合計 210 前年比：-0.7% | 217 前年比：+3.0% |
| | トラック・バス 除く合計 196 前年比：-0.8% | 204 前年比：+4.1% |
| 輸出台数 | 48 前年比：+27.8% | 47 前年比：-2.7% |
| 生産台数 | 237 前年比：+5.4% | 242 前年比：+2.2% |

- 23年の市場・生産共に昨年レベルと想定。
- 懸念：アルゼンチン選挙の影響、世界的なインフレ、通貨安等懸念材料多い。

四輪業界動向

1. 2021年 振り返り・2022年展望

2. 中長期展望 重要テーマ

3. 総括

2. 中長期展望

<重要テーマ>

■ 自動車政策 Rota 2030

■ 排ガス規制 Proconve

■ 中国メーカー動向

■ EPA / FTA

■ 税体系(ICMS州税等)

本日はこちらをご説明

2. 中長期展望 – 次期自動車政策Rota 2030

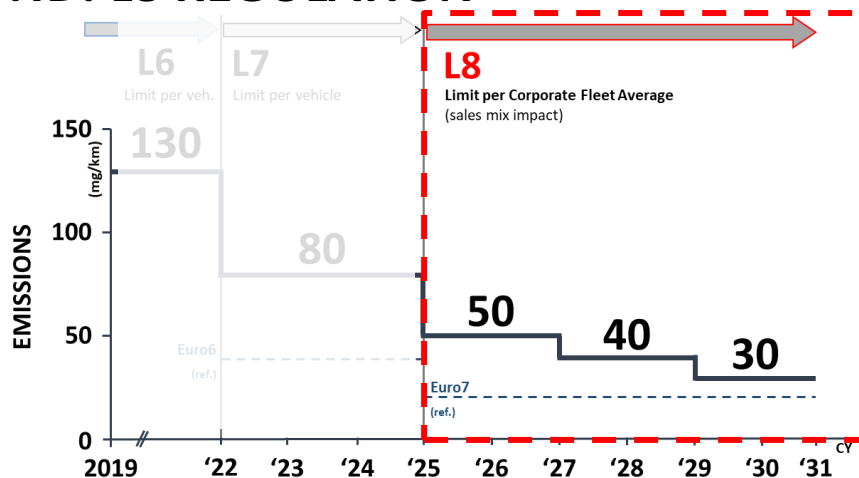
- 昨年、政府は次期自動車政策 Rota 2030のフレームワークの議論を ANFAVEAと開始
 - 前政権の期待:
 - モビリティの脱酸素化に向け、
 - **電動自動車・バッテリーのローカル生産の促進**
 - **電動車のインフラ整備**
 - **エタノールの促進**
- 新政権になり、議論が再開されたものの、同方向で進行するか不透明
- 一方で**ローカル生産を促進するため、電動車の輸入関税のフェーズアウトを政府は強く要求**

2.中長期展望 – 排ガス規制

BACKGROUND: L8 REGULATION

PASSENGER CARS (PC)

(FFV, Gasoline)



$EMISSIONS = HC [mg/km]$

HC = Hydrocarbon gases

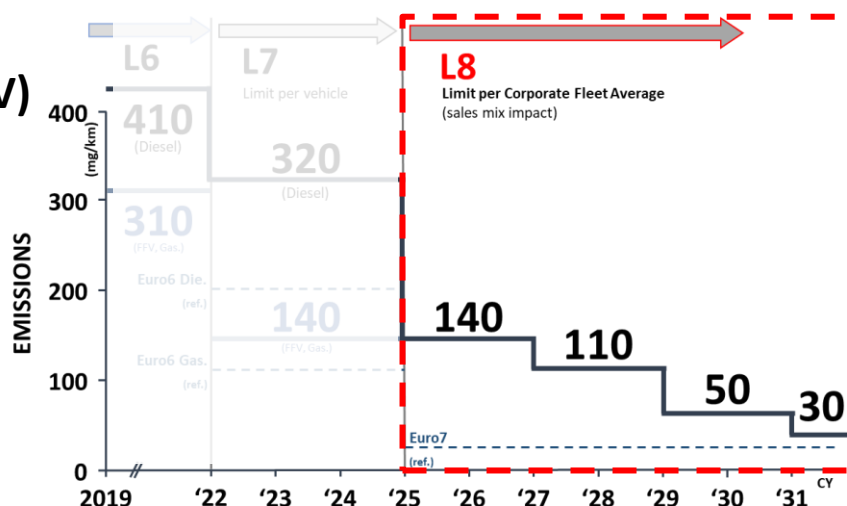
Source: TDB GA

COMMERCIAL VEHICLES (CV)

(Diesel, FFV, Gasoline)

Commercial Vehicle

- Payload > 1000Kg, or
- More than 9 occupants, or
- Off road: 4WD



- '25年～L8排ガス規制開始。（企業平均値での規制達成求められる = CAFÉ同様の仕組み）
- 段階的に規制値厳しくなり'29～商用車含めEuro7並みへ。

2.中長期展望 – 排ガス規制

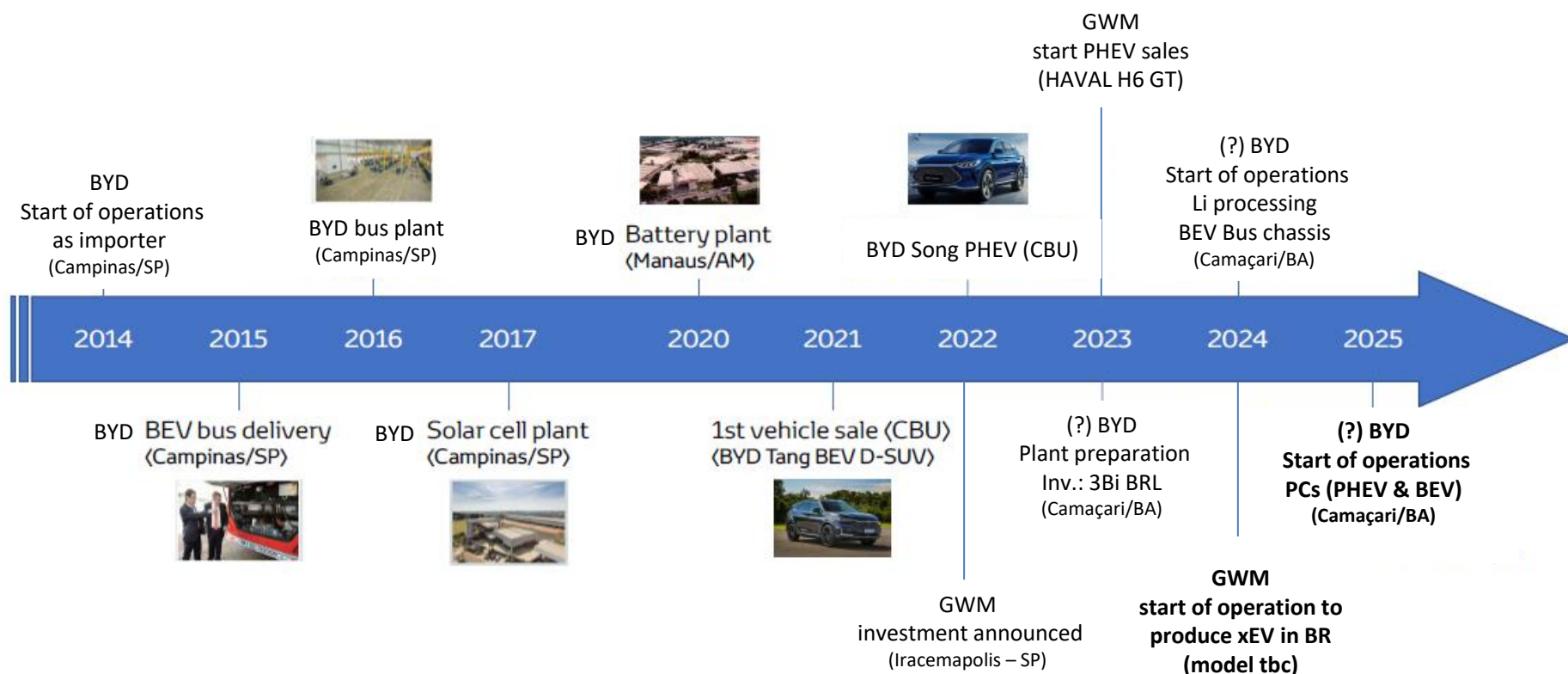
Harmonization of Public Policies of Mobility



Program Integration: Effective solution to combat global warming with the protagonism of biofuel

- 政府はエタノールを促進するも、排気規制は逆にフレックス車に不利

2. 中長期展望 – 中国メーカーの動向



- 中国メーカーは積極的にフレックス燃料を取り入れた電動車(HEV/ PHEV + FFV) ローカル生産を公表

2. 中長期展望 – FTA/EPA

<ブラジルに関連するFTA交渉>

| 協定 | ステータス | 内容 | GDP・人口 |
|------------|---------|--|------------------|
| EU・メルコスール | 批准手続き待ち | <ul style="list-style-type: none"> ・19年6月政治的合意 ・発効の為の批准手続き待ち | 20.2兆ドル 8.0億人 |
| カナダ・メルコスール | 交渉中 | <ul style="list-style-type: none"> ・18年3月交渉開始から7ラウンドの会議を実施 | 4.6兆ドル 3.2億人 |
| 韓国・メルコスール | 交渉中 | <ul style="list-style-type: none"> ・18年5月交渉開始から7ラウンドの会議を実施 | 4.5兆ドル 3.4億人 |
| 日・メルコスール | - | - | 7.9兆ドル 4.2億人 |

- 日本とのEPA早期交渉を推進しつつ、EUや韓国等に劣後しない内容(自由化スケジュール・原産地規則等)を要望

四輪業界動向

1. 2021年 振り返り・2022年展望

2. 長期展望 重要テーマ

3. 総括

3. 総括 – 本日のまとめ

2022年実績

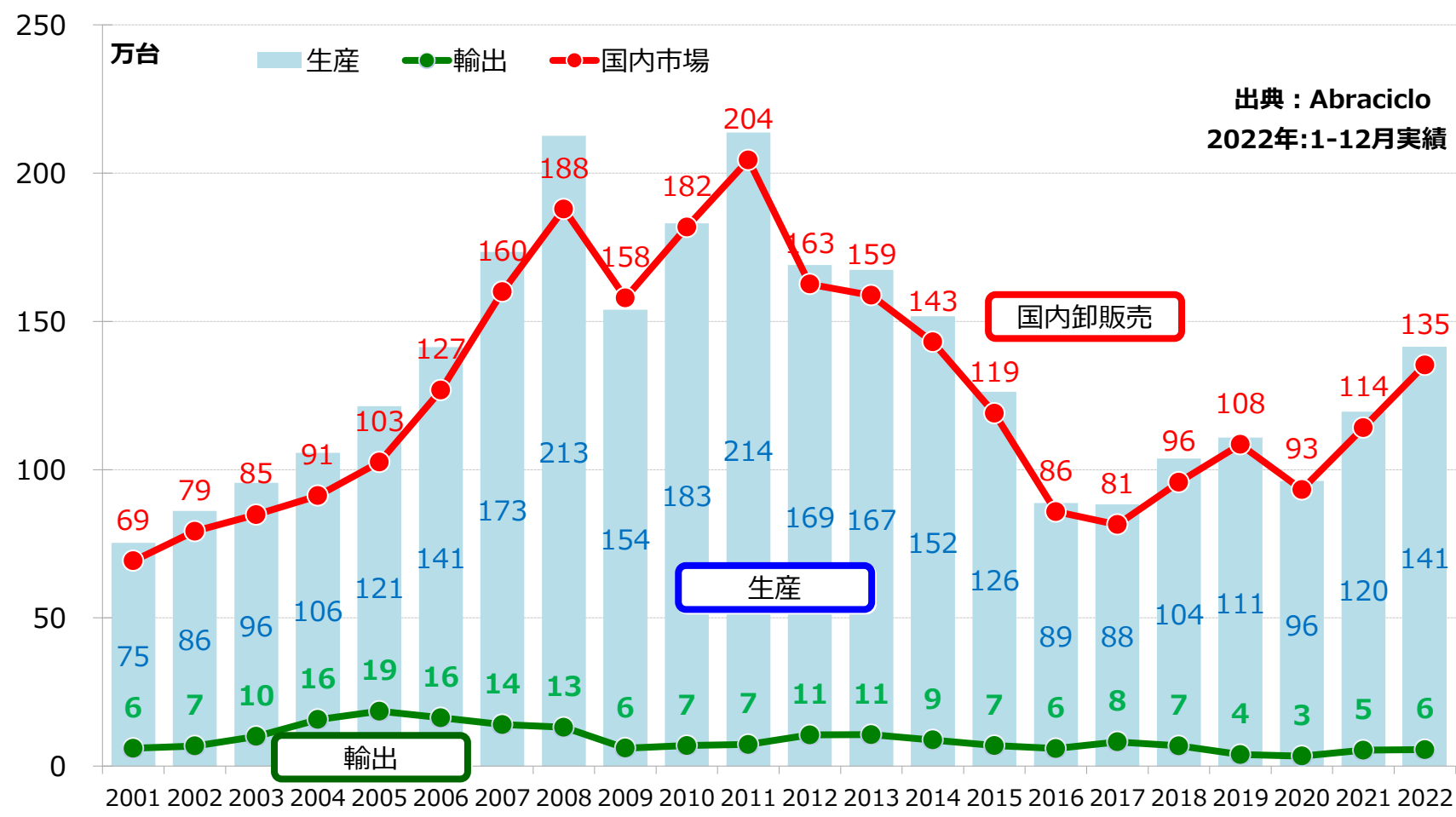
- **22年の市場は210万台**（前年同期比99.3%）と、**当初予測よりも販売は伸び悩む。今年の販売も昨年と同レベル（217万台）**を見込む。
- **生産は、引き続き部品供給不足が継続するも237万台（前年比105%）**。**今年も昨年と同レベル（242万台）**を予想。
- **輸出は、主要輸出国アルゼンチン向けは減少するも、コロンビア、チリ、メキシコの増加で、前年比27.8%増。**今年も同様の傾向を予想も、先行き不透明感あり。

中長期展望

- **一貫性ある環境・自動車政策の要望（税制・規制の一致）**
- **中国メイクの躍進に対する備え**
- **日メルコFTAの推進**
- **輸出拡大を奨励する税制要望（ICMS還付制度整備など）**

二輪業界動向

二輪車 生産・販売 推移

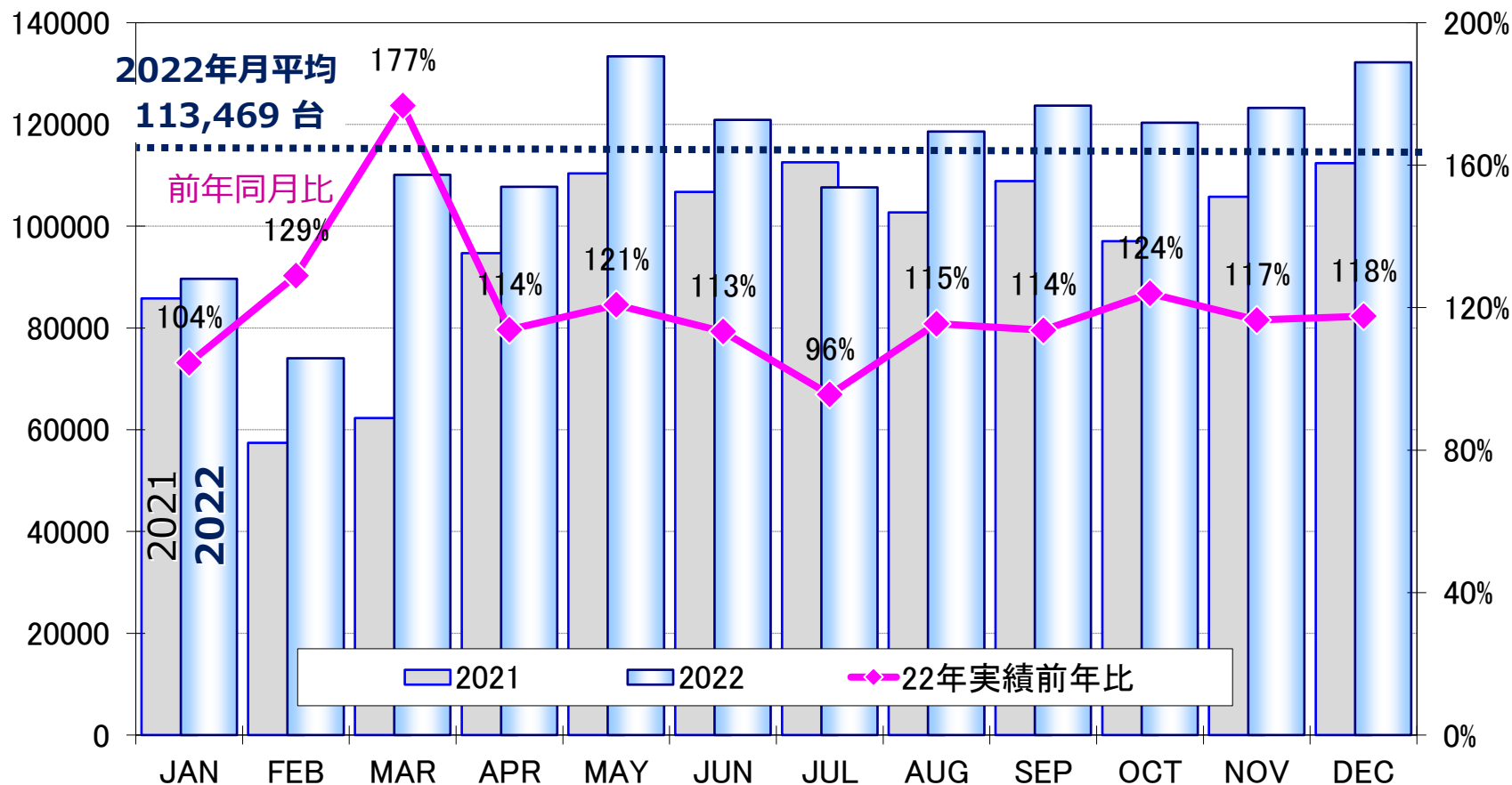


| 2022年 (1-12月) 実績 | | |
|------------------|-------|------------|
| 卸: | 135万台 | (前年比 118%) |
| 生産: | 141万台 | (同 118%) |
| 輸出: | 6万台 | (同 103%) |

二輪車 月別登録推移 (2021年vs2022年)

台数

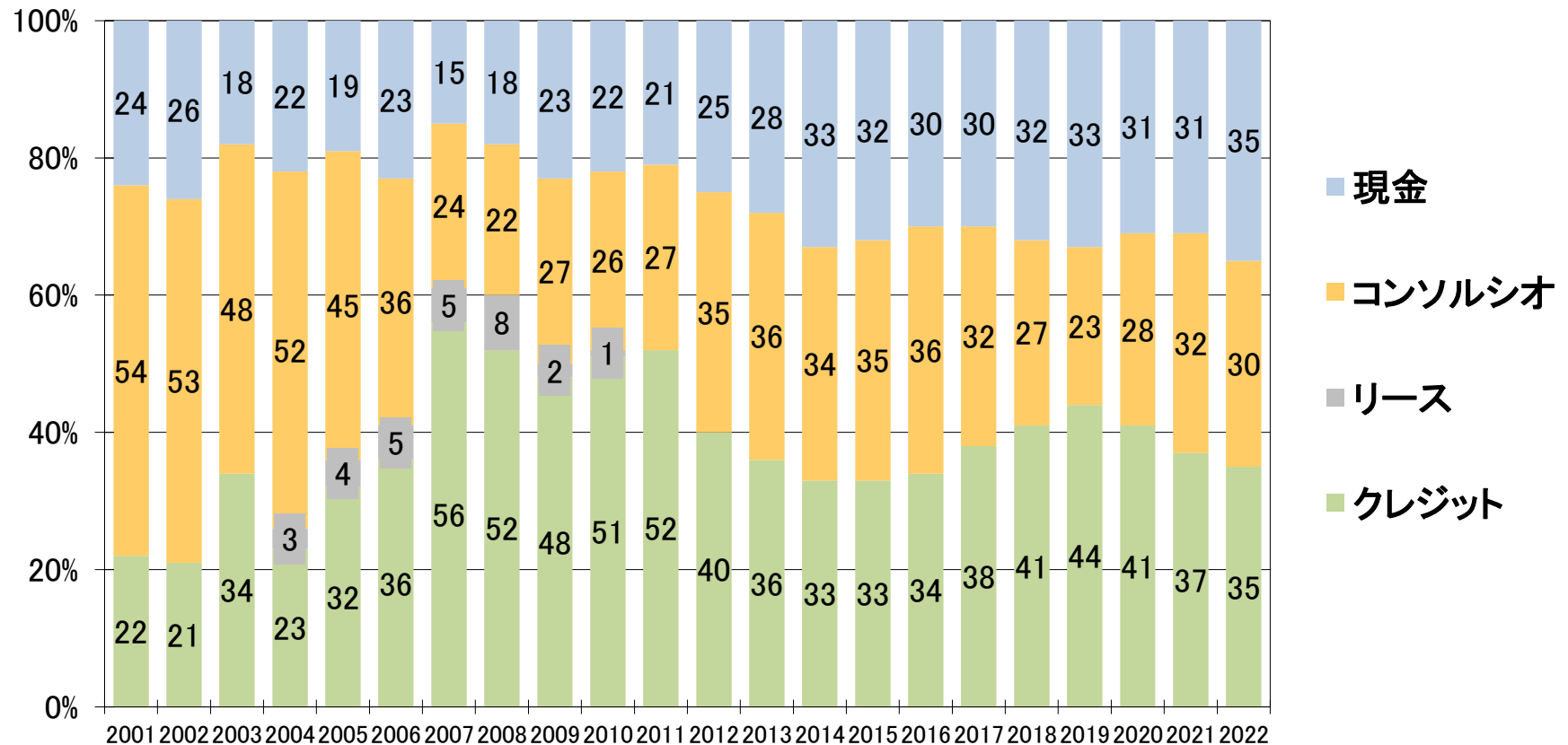
出典：DETRAN登録データ



月販は大きく前年越え (7月はHonda工場整備の定期シャットダウン影響での前年比減)

二輪車 支払形態別 販売比率

出典：ANEF（自動車メーカー系金融会社協会）



失業率改善や所得回復により現金(クレジットカード含)の比率微増

ご清聴ありがとうございました